

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	理 科	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	物理研究	担当者	若原 正人		
使用教材	改訂 新編 物理基礎 (東京書籍)				
	改訂 物理 (東京書籍)				
	Let's Try Note 物理基礎 vol.2 熱・波・電磁気編 (東京書籍)				
	リードLightノート 物理 (数研出版) フォトサイエンス 物理図録 (数研出版)				
学習目標	1 物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。				
	2 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。				
	3				
学習方法	1 授業前に教科書を読み、重要語句・中学校での既習事項を確認する。				
	2 授業では、板書を写すことにとどまらず、計算過程や式の変形の過程を自分自身で繰り返し、理解を深める。				
	3 問題集を解き、理解度を確認する。小テストごとに復習する。復習なくして、知識や問題を解く力の定着は見込めない。プリントの発展的な問題にも積極的に取り組もう。				
必ず取り組む 最小目標	・問題から物理量を抜き出すことができる。 ・適用する公式を見つけて使うことができる。				
実現したいと 思う最大目標	・自然現象から物理量を設定することができる。 ・自然の中に潜む物理法則を見い出すことができる。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1 関心・意欲・態度 (20 %)	…	物理的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
	2 思考・判断 (30 %)	…	物理的な事物・現象の中に問題を見い出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現 (15 %)	…	物理的な事物・現象に関する観察、実験の技法を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
	4 知識・理解 (35 %)	…	観察、実験などを通して物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度 …	・学習活動への参加の仕方や態度 ・報告書の内容及び提出状況 ・授業で使用するプリントの活用及び記入状況。			
	2 思考・判断 …	・定期考査の記述や解答内容 ・探究活動・実験報告書の内容 ・授業で使用する学習プリントや課題プリントの記入状況 ・発問に対する答えや発表の内容			
	3 観察・実験の技法・表現 …	・実験の中における器具の操作や方法 ・適切な実験の手順や方法と結果の整理 ・定期考査の実験実施問題の解答 ・授業で使用するプリントの記入内容			
	4 知識・理解 …	・定期考査 ・演習、練習問題プリント ・実験、課題報告書の内容			

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	理 科	学年	3 学年	単位数	2 単位
科目名	生物研究	担当者	森 秀 夫		
使用教材	生物基礎 （啓林館） ※1年生物基礎で使っていた教科書				
	リードLightノート生物基礎 （数研出版）				
学習目標	1 生物や生物現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てる。				
	2 生物や生物現象についての基本的な概念や原理・原則を理解し、科学的な自然観を育成する。				
	3 自然に対する総合的な見方を養う。				
学習方法	1 身近な自然現象や日常生活に結びつけて学習を進めるよう意識すること。				
	2 復習では、授業で学習した内容について教科書・ノートの見直しを行うとともに問題集(副教材)を使って問題演習を行うこと。				
	3 ノート・実験レポートは板書を写すだけではなく、大切な内容や授業後に自分で調べた発展的な内容を書き加えるなど、後で見直してもよくわかるような工夫をすること。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割程度。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
	2 思考・判断 (30 %)	…	自然の事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現 (10 %)	…	観察、実験の技法を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
	4 知識・理解 (50 %)	…	観察、実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	身だしなみや授業中の態度、発言等から評価する。		
	2 思考・判断	…	定期考査、提出物(課題等)の内容で判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現	…	実験、観察などでの作業の状況、提出されたレポートから反省や考察等を判断して評価。		
	4 知識・理解	…	定期考査、小テスト、提出物(課題等)の内容で判断する。		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	理 科	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	生物研究	担当者	高橋 玲美		
使用教材	生物 （啓林館）				
	リードLightノート生物基礎 （数研出版）				
	リードLightノート生物 （数研出版）				
	セミナー生物 （第一学習社）				
学習目標	1 生物や生物現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てる。				
	2 生物や生物現象についての基本的な概念や原理・原則を理解し、科学的な自然観を育成する。				
	3 自然に対する総合的な見方を養う。				
学習方法	1 身近な自然現象や日常生活に結びつけて学習を進めるよう意識すること。				
	2 復習では、授業で学習した内容について教科書・ノートの見直しを行うとともに問題集(副教材)を使って問題演習を行うこと。				
	3 ノート・実験レポートは板書を写すだけではなく、大切な内容や授業後に自分で調べた発展的な内容を書き加えるなど、後で見直してもよくわかるような工夫をすること。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割程度。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
	2 思考・判断 (30 %)	…	自然の事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現 (10 %)	…	観察、実験の技法を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
	4 知識・理解 (50 %)	…	観察、実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	身だしなみや授業中の態度、発言等から評価する。		
	2 思考・判断	…	定期考査、提出物(実験レポート、課題等)の内容で判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現	…	実験、観察などでの作業の状況、提出されたレポートから反省や考察等を判断して評価。		
	4 知識・理解	…	定期考査、小テスト、提出物(実験レポート、課題等)の内容で判断する		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	理 科	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	化学	担当者	高橋 玲美		
使用教材	新版 化学 新訂版(実教出版)				
	アクセスノート 化学 改訂版(実教出版)				
学習目標	1 化学的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を養う。				
	2 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。				
	3 科学的な自然観を養う。				
学習方法	1 教科書を中心に、基本的な概念・法則を理解する。				
	2 問題集を中心に、クラスメートと議論し、理解を深める。				
	3 問題の解答を板書するなどし、その日の成果をクラス全体で共有する。				
必ず取り組む 最小目標	化学の基本的な概念の理解に努める。				
実現したいと 思う最大目標	基礎的・基本的な学習を通して知識・理解を深め、分析的考察力を高めること、科学的なものの見方、問題解決能力を養うこと。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は6割。				
	1 関心・意欲・態度 (15 %)	…	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
	2 思考・判断 (15 %)	…	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現 (10 %)	…	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技法を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
	4 知識・理解 (60 %)	…	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度 …	・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用了課題やノートの記入状況			
	2 思考・判断 …	・発問に対する答え ・授業時に求めた答えが論理的に求められたか			
	3 観察・実験の技法・表現 …	・適切に実験を行う ・実験結果について論理的に表現する			
	4 知識・理解 …	・定期考査			

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	理 科	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	地学基礎(選択3)	担当者	氏家 正規		
使用教材	地学基礎 改訂版 (啓林館)				
	センサー 地学基礎 改訂版 (啓林館)				
学習目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。				
	2 目的意識をもって観察, 実験などを行い, 地学的に探究する能力と態度を育てる。				
	3 地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な見方や考え方を養う。				
学習方法	1 授業に集中し, 板書を書き写すのみならず, 説明をよく聞き, 内容を理解する。				
	2 原則単元ごと行われる小テストに向けて, 家庭学習に取り組み, 基礎知識を固める。				
	3 問題集などでの復習に努め, より多様な観点から, 地球の成り立ちやその構造, 変化, 宇宙等を理解する。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い, それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また, それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1 関心・意欲・態度 (20 %)	…	自然の事物・現象に関心や探究心をもち, 意欲的にそれらを探究するとともに, 科学的態度を身に付けている。		
	2 思考・判断 (30 %)	…	自然の事物・現象の中に問題を見い出し, 観察, 実験などを行うとともに, 事象を実証的, 論理的に考えたり, 分析的・総合的に考察したりして問題を解決し, 事実に基づいて科学的に判断する。		
	3 観察・実験の技法・表現 (15 %)	…	観察, 実験の技法を習得するとともに, 自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け, それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
	4 知識・理解 (35 %)	…	観察, 実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し, 知識を身に付けている。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度 …	・学習活動への参加の仕方や態度 ・報告書の内容及び提出状況 ・授業で使用するプリントの活用及び記入状況。			
	2 思考・判断 …	・定期考査の記述や解答内容 ・探究活動・実験報告書の内容 ・授業で使用する学習プリントや課題プリントの記入状況 ・発問に対する答えや発表の内容			
	3 観察・実験の技法・表現 …	・実験の中における器具の操作や方法 ・適切な実験の手順や方法と結果の整理 ・定期考査の実験実施問題の解答 ・授業で使用するプリントの記入内容			
	4 知識・理解 …	・定期考査 ・演習, 練習問題プリント ・実験, 課題報告書の内容			

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	保 健 体 育	学年	3	単位数	3 単位
科目名	体 育	担当者	野崎貴裕 市山貴一 加藤武志(校長) 奥 恭平		
使用教材					
学習目標	1 運動の多様性・体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付ける。				
	2 課題の発見・解決のために思考、判断するとともに、それを他者に伝える力を養う。				
	3 公正・協力・責任・参画などの意欲を育て、生涯にわたり運動に親しむ態度を養う。				
学習方法	1 積極的に授業に参加し、知識や技能や安全について理解する。				
	2 自己やチームの課題の発見と解決を目指し、周囲とコミュニケーションをとりながら練習や試合の工夫に取り組む。				
	3 生徒自ら、主体的に学習を進めていく場面を多く取り入れていく。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の3つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価する。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 知識・理解 (30 %)	…	生活における運動の意義や必要性、運動の特性と合理的な行い方を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に役立つ知識を身に付けている。		
	2 思考・判断・表現 (30 %)	…	運動の特性にふれる楽しさや喜びを深く味わったり、体力の向上を図ったりするために、自己の能力等に応じて運動を選び、自己やグループ(チーム)による運動特性に応じた課題を見つけ、その解決を目指して計画的な練習の仕方、競技の仕方、競技会の企画・運営等を考え、工夫している。		
	3 主体的に学習に取り組む態度 (40 %)	…	運動の楽しさや喜びを深く味わうために、自己の能力等に応じて、運動の特性に応じた技能を高めることができる。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な運動の行い方を身に付け、生活の中で実践できる。		
評価の方法	1 知識・理解	…	試合やチームなどの積極的運営・体育理論		
	2 思考・判断・表現	…	目的達成までの工夫した取り組み・ゲーム		
	3 主体的に学習に取り組む態度	…	リーダーシップ、判断力、実践力		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	保 健 体 育	学年	生涯スポーツ	単位数	4 単位
科目名	体 育	担当者	野崎 貴裕・市山 貴一		
使用教材					
学習目標	1 生涯におけるスポーツライフの実現を目指し理解を深める。				
	2 学ぶ意欲や自分で課題を見付ける能力を養う。				
	3 自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する能力を養う。				
学習方法	1 積極的に授業に参加し、知識や技能や安全について理解する。				
	2 自己の課題やチームの課題の解決を目指して、練習や試合の工夫に取り組む。				
	3 生徒自ら、主体的に学習を進めていく場面を多く取り入れていく。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の3つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価する。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 知識・理解 (30 %)	…	生活における運動の意義や必要性、運動の特性と合理的な行い方を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に役立つ知識を身に付けている。		
	2 思考・判断・表現 (30 %)	…	運動の特性にふれる楽しさや喜びを深く味わったり、体力の向上を図ったりするために、自己の能力等に応じて運動を選び、自己やグループ(チーム)による運動特性に応じた課題を見つけ、その解決を目指して計画的な練習の仕方、競技の仕方、競技会の企画・運営等を考え、工夫している。		
	3 主体的に学習に取り組む態度 (40 %)	…	運動の楽しさや喜びを深く味わうために、自己の能力等に応じて、運動の特性に応じた技能を高めることができる。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な運動の行い方を身に付け、生活の中で実践できる。		
評価の方法	1 知識・理解	…	試合やチームなどの積極的運営・体育理論		
	2 思考・判断・表現	…	目的達成までの工夫した取り組み・ゲーム		
	3 主体的に学習に取り組む態度	…	リーダーシップ、判断力、実践力		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	芸 術	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	音楽Ⅱ	担当者	辻 正博		
使用教材	高校生の音楽2(教育芸術社)				
	改訂 音楽通論				
	各楽器ごとの楽譜				
学習目標	1 様々な音楽を理論も含めて総合的に学習することによって、生涯にわたって音楽を愛好しようとする心情を育てます。				
	2 器楽・創作などの表現する活動や音楽を鑑賞する活動を通して、自己を表現する力や音楽のよさを感じ取る力を伸ばします。				
	3 我が国や諸外国の音楽の学習を通して、世界の音楽芸術・文化のよさを認め合うような心情を育てます。				
学習方法	1 主に器楽曲を演奏します(楽器の選択肢は限られます)				
	2 自主的に課題を見つけ解決していくことと、練習に集中する忍耐力が必要です				
	3 機会を捉えて、様々な音楽に関わるDVDの鑑賞をおこないます				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 関心・意欲・態度 (30 %)	…	芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	2 芸術的な感受や表現の工夫 (30 %)	…	感性を働かせて芸術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫する。		
	3 創造的な表現の技能 (20 %)	…	創造的な芸術表現をするために必要な技能を身に付けている。		
	4 鑑賞の能力 (20 %)	…	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わう。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	活動参加状況、提出物		
	2 芸術的な感受や表現の工夫	…	実技テストなど		
	3 創造的な表現の技能	…	発表など		
	4 鑑賞の能力	…	レポート		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	芸 術	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	書道Ⅰ	担当者	比企 絢子		
使用教材	書道Ⅰ（東京書籍）				
	北海道書道教育資料集 墨心（教育出版）				
	新編 応用ペン習字(教育図書)				
学習目標	1 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり、書を愛好する心情を育成する。				
	2 書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。				
	3 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、書の伝統や文化を考えて、書の美を味わったりすることができるようにする。				
学習方法	1 毛筆による古典の臨書・創作による表現技術の錬磨と育成。				
	2 プリントによる知識及び技術の理解と表現の理解。				
	3 自己評価・他己評価などによる鑑賞能力の育成。				
必ず取り組む最小目標	単元終了時に作品とプリントを提出。全単元の課題を提出すること。				
実現したいと思う最大目標	自らの創意工夫による書表現(臨書・創作ともに書き方を工夫し、用具用材を活用出来る)。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 書への関心・意欲・態度 (25 %)	…	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。		
	2 書表現の構想と工夫 (30 %)	…	感性を働かせながら古典の書美を感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。		
	3 創造的な表現の技能 (25 %)	…	顔真卿の書の基礎知識を学ぶ。筆使いを学び、作品制作を行う。		
	4 鑑賞の能力 (20 %)	…	書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。		
評価の方法	1 書への関心・意欲・態度	…	授業への取り組み(準備・後片付け等含める)、発言、みだしなみ		
	2 書表現の構想と工夫	…	提出物(作品・プリント)最終的な作品だけでなく、経過もみる。		
	3 創造的な表現の技能	…	提出物(作品・プリント)最終的な作品だけでなく、経過もみる。		
	4 鑑賞の能力	…	単元毎の自己評価・他己評価	プリントの書き込み	批評会
	※定期考査はおこなわない。				

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	芸術	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	音楽表現	担当者	辻 正博		
使用教材	改訂 音楽通論				
	各楽器ごとの楽譜				
学習目標	1 様々な音楽を理論も含めて総合的に学習することによって、生涯にわたって音楽を愛好しようとする心情を育てます。				
	2 器楽・創作などの表現する活動や音楽を鑑賞する活動を通して、自己を表現する力や音楽のよさを感じ取る力を伸ばします。				
	3 我が国や諸外国の音楽の学習を通して、世界の音楽芸術・文化のよさを認め合うような心情を育てます。				
学習方法	1 主に器楽曲を演奏します(楽器の選択肢は限られます)				
	2 自主的に課題を見つけ解決していくことと、練習に集中する忍耐力が必要です				
	3 機会を捉えて、様々な音楽に関わるDVDの鑑賞をおこないます				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 関心・意欲・態度 (30 %)	…	芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	2 芸術的な感受や表現の工夫 (30 %)	…	感性を働かせて芸術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫する。		
	3 創造的な表現の技能 (20 %)	…	創造的な芸術表現をするために必要な技能を身に付けている。		
	4 鑑賞の能力 (20 %)	…	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わう。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	活動参加状況、提出物		
	2 芸術的な感受や表現の工夫	…	実技テストなど		
	3 創造的な表現の技能	…	小テスト、発表など		
	4 鑑賞の能力	…	レポート		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	芸 術	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	美術 I	担当者	川橋 雪弘		
使用教材	高校美術 I				
学習目標	1 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。				
	2 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。				
	3 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。				
学習方法	1 素描・絵画に取り組みます。				
	2 版画・彫刻に取り組みます				
	3 クラフトデザイン、映像メディア表現について取り組みます。				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 関心・意欲・態度 (30 %)	…	芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞・評価の活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
	2 芸術的な感受や表現の工夫 (30 %)	…	感性を働かせて芸術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫する。		
	3 創造的な表現の技能 (20 %)	…	創造的な芸術表現をするために必要な技能を身に付けている。		
	4 鑑賞(自己評価)の能力 (20 %)	…	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わう。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業態度(30%)		
	2 芸術的な感受や表現の工夫	…	作品の完成度(30%)		
	3 創造的な表現の技能	…	作品提出(40%)		
	4 鑑賞(自己評価)の能力	…			

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	外 国 語	学年	3 学年	単位数	3 単位
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	担当者	堀田 裕二		
使用教材	Power On English CommunicationⅡ およびワークブック(東京書籍)				
	ユメタン1(アルク)				
	リスニングパイロット Level 2.5(東京書籍)・辞書				
学習目標	1 情報の概要や要点を捉え、聞き手に伝わるように音読したり、意見の交換をしたりする。				
	2 学んだ事や経験したことに基づき、簡潔に書く。				
	3 単語の覚え方、英語でコミュニケーションをとる際に必要な文法・表現を習得する。				
学習方法	予習(①新出単語の意味調べ ②本文の要約) 1 授業(①Q and A ②重要箇所、板書の記入 ③音読練習) 復習(①本文の内容確認 ②新出単語・熟語の確認 ③文法の確認 ④ワークブック)				
	新出語の意味確認・発音練習 → 本文の内容理解(文法事項も含む) → 本文の音読 2 練習 → 本文の暗誦				
	3 小テスト(ユメタン、本文の穴埋めテスト、パフォーマンステストなど)				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。 また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 関心・意欲・態度 (10 %)	…	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		
	2 表現の能力 (20 %)	…	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。		
	3 理解の能力 (35 %)	…	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようすることを理解する。		
	4 知識・理解 (35 %)	…	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	教材・辞書の用意、課題の提出・授業への取り組み状況		
	2 表現の能力	…	定期考査・小テスト(本文穴埋めテスト)・音読		
	3 理解の能力	…	定期考査・小テスト(英問英答、TorFなど)		
	4 知識・理解	…	定期考査・小テスト(単語、熟語、文法など)・休み明け単語テスト		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	外国語		学年	3 学年	単位数	2 単位
科目名	英語表現Ⅱ		担当者	佐藤 光弘 中野 忠		
使用教材	・BIG DIPPER English ExpressionⅡ					
	・ラーナーズ 総合英語					
	・BIG DIPPER English ExpressionⅡワークブック ・辞書					
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。 具体的な言語活動は次の通り。 ア. 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ. 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ. 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。					
評価の観点	a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解		評価対象	(a)定期考査・小テスト (b)課題の提出 (c)授業中の活動 (d)発表		
必ず取り組む 最小目標						
実現したいと 思う最大目標						
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価する。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。評価に占める定期考査の割合は7割程度。					
	1 関心・意欲・態度 … ○ モデル文に関心を持ち、聞き、読もうとしている。 (20 %) ○ 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。					
	2 表現の能力 … ○ 学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。 (40 %) W ○ 自分や与えられた課題について、文章を書くことができる。 ○ パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ○ 要約を書く手順を理解し、要約文を書くことができる。					
	○ 与えられた状況において、適切に話し、伝えることができる。 S ○ 適切な音声で、プレゼンテーションを行うことができる。 ○ 自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることができる。					
	3 理解の能力 … ○ 相手の言ったことを、正しく聞き取れる。 (20 %) L ○ 英文を聞き、正しい解答を選べる。 ○ 発表者や発言者の言ったことを、正しく聞き取れる。					
	○ つなぎの言葉の使い方を理解している。 R ○ パラグラフの構成を理解している。 ○ 文章の要点をつかむことができる。					
	4 知識・理解 … ○ いろんなトピックについて、内容を理解することができる。 (20 %) ○ それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し、知識として定着させている。					

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	外国語(英語)	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	英語講読	担当者	堀田 裕二		
使用教材	Scramble Basic 英文法・語法(旺文社)				
	Jet Reading Level 1 / Jet Reading Level 2 (数研出版)				
	共通テスト10分リスニングプレノート(数研出版)				
	共通テスト対策リスニング10分+30分 (啓林館)				
学習目標	1 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。				
	2 将来の目標に向けて、幅広い話題について語彙を増やし、英語で読んだり、理解できるように努める。				
	3 問題演習を繰り返し行い、共通テストに対応できる実力を育成する				
学習方法	1 予習 Scramble Basic問題を解き、理解不明な点をはっきりさせる。				
	演習	リスニング演習	テスト形式の演習、音読トレーニング		
	2	リーディング演習 英文法・語法演習	テスト形式の演習、文法・語法の確認 文法・語法の確認		
	3	復習	音読トレーニング ポイントを確認しながら問題演習の繰り返し		
	必ず取り組む 最小目標				
	実現したいと 思う最大目標				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は8割。				
	1	関心・意欲・態度 (20 %)	…	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	2	表現の能力 (20 %)	…	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。	
	3	理解の能力 (40 %)	…	外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようすることを理解する。	
	4	知識・理解 (20 %)	…	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解している。	
評価の方法	1	関心・意欲・態度	…	予習状況や課題の提出	
	2	表現の能力	…	定期考査・小テスト(単元テスト・リスニングテスト)	
	3	理解の能力	…	定期考査・小テスト(単元テスト・リスニングテスト)	
	4	知識・理解	…	定期考査・小テスト(単元テスト・リスニングテスト)	

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	外 国 語	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	英語構文	担当者	田中 秀治		
使用教材	基礎と発展 英語構文ワーク100（数研出版） 英語演習ノート GREEN版（数研出版）				
	READING GYM 英語速読テスト標準編・発展編（数研出版）				
学習目標	1 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。				
	2 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。				
	3 情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的なコミュニケーション能力を養う。				
学習方法	1 予習 ①英語構文ワークの問題演習（答えはノートへ記入） ②語彙の習得（速読テスト内の語彙）				
	2 授業 ①英語構文ワークの解答解説 ②速読テストの実施と解答解説				
	3 復習 ①英語構文ワーク・速読テストの問題再演習				
必ず取り組む 最小目標					
実現したいと 思う最大目標					
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。 また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。				
	1 関心・意欲・態度 (20 %)	…	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		
	2 表現の能力 (20 %)	…	幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現する。		
	3 理解の能力 (30 %)	…	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを整理して理解する。		
	4 知識・理解 (30 %)	…	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	ノートや課題の提出・授業への取り組み状況		
	2 表現の能力	…	定期考査・小テスト（和文英訳など）		
	3 理解の能力	…	定期考査・速読テスト（Reading Gym）		
	4 知識・理解	…	定期考査・速読テスト（Reading Gym）		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	家 庭	学 年	3 学年	単位数 : 3 単位
科目名	子どもの発達と保育	担当者	小 林 郁 美	
使用教材	子どもの発達と保育 (実教出版)			
学習目標	子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につける。			
学習方法	1 授業における課題に対して自ら考え、周りの生徒と共同で考える活動を行う。 2 乳幼児とのふれあいや、子どもの健全な成長にかかわる体験的・実践的活動を行う。 3 実験・実習を通して技能を身につけるとともに、現状における課題などについても考え、レポートする活動も行う。			
必ず取り組む最小目標				
実現したいと思う最大目標				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行う。それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行い、総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は7割 1 関心・意欲・態度…子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達(10%)や子育て支援に寄与してこうとする実践的な態度を身につけている。 2 思考・判断・表現…子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決(10%)を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。 3 技能…保育に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。(10%) 4 知識・理解…子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。(70%)			
評価の方法	1 関心・意欲・態度…授業・実験・実習での取り組み、忘れ物がないか 課題・レポートの提出状況 ノートの提出 2 思考・判断・表現…定期テスト、実験・実習・授業での取り組み レポート 発表 3 技能…実験・実習・作品製作 技能テスト 課題提出 4 知識・理解…定期テスト・小テスト等			

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	商 業	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	課題研究	担当者	横田 たき子		
使用教材	全経簿記検定試験2級PAST(英光社)				
学習目標	1 商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化を図る。				
	2 問題解決の能力や自発的創造的な学習態度を身に着ける。				
	3 活動成果の検証と改善を繰り返した継続的な学習態度を身に着ける。				
学習方法	1 自分の理解を補うために、積極的にメモをとりながら授業を受けましょう。				
	2 学習方法の改善、工夫を心掛けましょう。また、複数人で行う業務は共同を心掛けましょ う。				
	3 企業のビジネス活動について常に探求心を持ち、小さな疑問を大切にして自ら調べる習 慣をつけましょう。				
必ず取り組む 最小目標	真面目な態度で授業を受け、課題には丁寧に取り組む。				
実現したいと 思う最大目標	自発的で継続的な学習態度を身に着ける。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行 う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割 合は5割。				
	1 関心・意欲・態度	…	商業に関する専門的知識に関心を持ち、商業に関する課題を生徒自ら が設定し、自ら学ぶ目標を定め、自ら学び考えるなど主体的に取り組も うとするとともに、自発的、創造的に学習に取り組む態度を身に付けて いる。		
	2 思考・判断	…	商業に関する専門的な知識と技術の深化を目指して思考を深 め、基礎的・基本的な知識と技術を基に課題を解決する方法を 適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		
	3 技能・表現	…	自ら設定した課題に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、 課題解決について合理的に計画し、その技術を適切に活用して いる。		
	4 知識・理解	…	自ら設定した課題に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、 課題解決の意義について理解している。		
評価の方法	(前期) 定期考査点(60%)		(前期) 授業点(小テスト・課題・宿題)(40%)		
	2 思考力、判断力を問う難しめの問題		1 宿題・課題の取り組み状況、提出状況		
	3 基礎的な技能、正確性を見る問題		3 基礎的な技能、正確性を見る問題		
	4 基礎的な知識を確認する問題		4 基礎的な知識を確認する問題		
	(後期)		課題、レポート、発表、評価(100%)		

令和5年度 北海道芽室高等学校 学習指導計画

教科名	商 業	学年	3 学年	単位数	4 単位
科目名	ビジネス基礎	担当者	横田 たき子		
使用教材	ビジネス基礎新訂版(実教出版)				
	高校生からのビジネスマナー、ビジネス基礎問題集				
学習目標	1 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、ビジネスの意義や役割を理解する。				
	2 ビジネスのの諸活動を主体的かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。				
	3 経済社会の一員としての心構えを持ち、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を身につける。				
学習方法	1 自分の理解を補うために、積極的にメモをとりながら授業を受けましょう。				
	2 学習内容が実社会のどのような活動を指しているのか、さまざまな事柄に興味を持ち、積極的な態度で授業を受けましょう。				
	3 毎時間の授業を大切にし、課題は期限を守ってしっかりと取り組みましょう。				
必ず取り組む最小目標	真面目な態度で授業を受け、課題には丁寧に取り組む。				
実現したいと思う最大目標	ビジネスの理念を理解し、責任ある職業人となるにふさわしい態度を身に付ける。				
評価の観点	次の4つの観点に基づき評価を行い、それらを総括して前期末・後期末に10段階で評価を行う。また、それらを総合して学年末に5段階で評定を行う。これらの評価に占める定期考査の割合は5割。				
	1 関心・意欲・態度	…	ビジネスについて関心を持ち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。		
	2 思考・判断	…	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。		
	3 技能・表現	…	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。		
	4 知識・理解	…	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。		
評価の方法	1 関心・意欲・態度	…	授業の参加態度、課題提出		
	2 思考・判断	…	課題提出、定期考査		
	3 技能・表現	…	課題提出、定期考査		
	4 知識・理解	…	小テスト、定期考査		